

世界の財産3分法ファンド(不動産・債券・株式) 毎月分配型

追加型投信／内外／資産複合

交付運用報告書

第220期(決算日2024年1月15日) 第221期(決算日2024年2月15日) 第222期(決算日2024年3月15日)
第223期(決算日2024年4月15日) 第224期(決算日2024年5月15日) 第225期(決算日2024年6月17日)

作成対象期間(2023年12月16日～2024年6月17日)

第225期末(2024年6月17日)	
基準価額	11,834円
純資産総額	39,212百万円
第220期～第225期	
騰落率	8.3%
分配金(税込み)合計	60円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「世界の財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型」は、2024年6月17日に第225期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、国内外の不動産、債券、株式に実質的に投資を行ない、安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

<940607>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

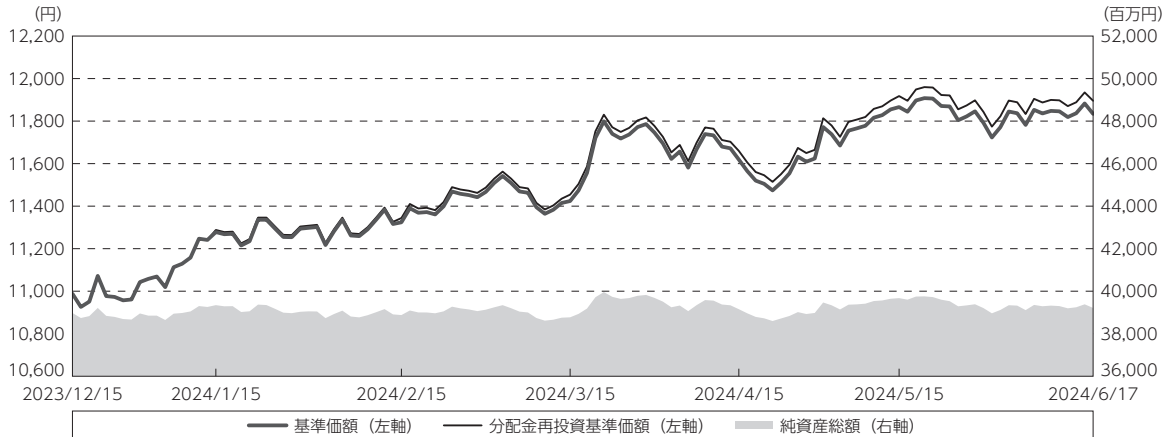
コールセンター 電話番号: 0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2023年12月16日～2024年6月17日)



第220期首：10,988円

第225期末：11,834円（既払分配金（税込み）：60円）

騰落率：8.3%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2023年12月15日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、国内外の不動産、債券、株式に実質的に投資を行ない、安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。また、国内外の各資産への投資にあたっては、各資産を投資対象とする6つのマザーファンドを通じて行なっており、各マザーファンドの組入比率は、それぞれ、純資産総額の1/6を目途としております。

当作成期間中において、基準価額の変動要因となった、各マザーファンドの騰落率および当期間末における組入比率は以下の通りです。

詳しくは「投資環境」をご参照ください。

投資対象資産	投資対象ファンド	騰落率	組入比率
不 動 産	日本リートインデックスJ-R E I Tマザーファンド	△3.0%	15.4%
	海外リートインデックス（ヘッジなし）マザーファンド	8.1%	16.9%
債 券	日本債券インデックスマザーファンド	△1.8%	15.6%
	海外債券インデックス（ヘッジなし）マザーファンド	9.7%	16.8%
株 式	日本株式インデックスTOP I Xマザーファンド	17.2%	16.3%
	海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI（ヘッジなし）マザーファンド	25.0%	17.3%

1万口当たりの費用明細

(2023年12月16日～2024年6月17日)

項 目	第220期～第225期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	61	0.528	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(26)	(0.222)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(32)	(0.278)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.028)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.001	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数
(株 式)	(0)	(0.000)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)	
(先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	(0)	(0.000)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数
(株 式)	(0)	(0.000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	2	0.017	(d) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.006)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用 等)	(1)	(0.008)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用、約款で定めるマザーファンドの運用において利用する指数の標章使用料など
(そ の 他)	(0)	(0.001)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	63	0.547	
作成期間の平均基準価額は、11,523円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

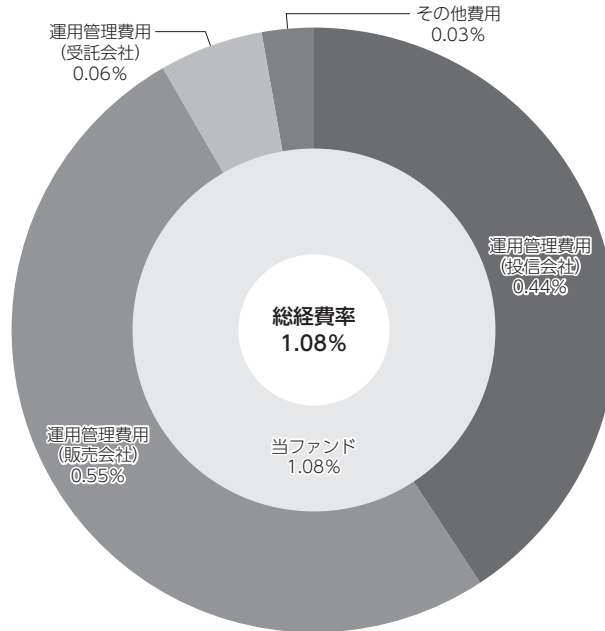
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものをみます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)**○総経費率**

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.08%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認ください。期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

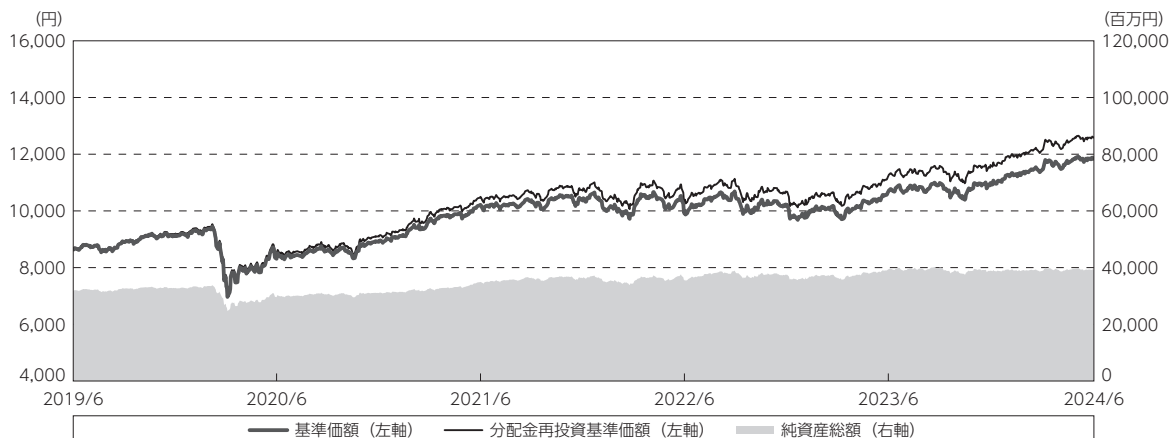
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2019年6月17日～2024年6月17日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2019年6月17日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2019年6月17日 決算日	2020年6月15日 決算日	2021年6月15日 決算日	2022年6月15日 決算日	2023年6月15日 決算日	2024年6月17日 決算日
基準価額 (円)	8,638	8,310	10,217	9,906	10,678	11,834
期間分配金合計(税込み) (円)	—	120	120	120	120	120
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 2.4	24.6	△ 1.9	9.1	12.0
純資産総額 (百万円)	31,844	29,571	34,941	35,426	39,363	39,212

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

（2023年12月16日～2024年6月17日）

（国内不動産投資信託市況）

国内不動産投資信託市場では、東証REIT指数（配当込み）は期間の初めと比べて下落しました。都心部オフィスの空室率が低下したことに加え平均賃料が上昇したことや、国内株式市場が堅調に推移したことなどがREIT価格の支援材料となったものの、米国の商業用不動産市場の混乱が警戒されたことや、日銀がマイナス金利政策の解除を決定したこと、日銀が追加利上げや国債買い入れの減額などの金融政策の正常化を進めるとの思惑が高まり国内長期金利が上昇したことなどがREIT価格の重しとなり、東証REIT指数（配当込み）は下落しました。

（海外不動産投資信託市況）

海外のREIT市場では、S & P先進国REIT指数（除く日本）は期間の初めと比べて下落しました。期間の初めから2023年12月下旬にかけては、米国連邦準備制度理事会（FRB）議長が利下げを巡る議論を始めたことを受けて、FRBが2024年に複数回にわたり利下げを行なうとの観測が強まったことや、原油など資源価格の下落を受けてインフレ懸念が後退し欧米主要国の長期金利が概して低下したことなどから、同指数は上昇しました。

2024年1月上旬から5月下旬にかけては、米国の主要REIT決算が概ね堅調な内容となったことや、世界的な人工知能（AI）の導入の加速とともにAI関連企業の業績拡大および米国経済のソフトランディング（軟着陸）への期待が高まり株式市場が上昇したことがREIT価格の支援材料となったものの、FRB議長が米国連邦公開市場委員会（FOMC）後の記者会見で金融緩和に慎重な考えを示したことを受けてFRBによる政策金利の早期利下げ観測が後退したことや、米国の景況感に関する経済指標などが市場予想を上回り米国の景気減速への懸念が後退し米国の長期金利が上昇したこと、中東情勢の緊迫化などからリスク回避姿勢が強まったことなどが重しとなり、同指数は下落しました。

6月上旬から期間末にかけては、欧州中央銀行（ECB）やカナダの中央銀行が利下げを決定したことや、市場予想を下回る米国のインフレ指標などを受けてFRBによる利下げへの期待が高まり米国をはじめとする主要国の長期金利が低下したこと、株式市場が上昇したことなどが支援材料となり、同指数は上昇しました。

（国内債券市況）

国内債券市場では、10年国債利回りは、期間の初めと比べて上昇（債券価格は下落）しました。

米国の消費者物価指数（CPI）が市場予想を下回り、米国のインフレへの警戒感が和らいだことなどが利回りの低下（債券価格は上昇）要因となったものの、企業から高い水準の回答が相ついで春闘を受けて日銀が金融政策決定会合でマイナス金利を解除するとの観測が強まったことや、その後にマイナス金利政策の解除を行なったこと、堅調な米国の経済指標の発表を背景にFRBの利下げが遅れるとの見方が強まったこと、円安／アメリカドル高が輸入物価の上昇を通じて国内のインフレ圧力となり日銀の追加利上げを促すとの思惑が高まったこと、日銀が実施した国債買い入れオペで購入額を減額したことを受けて国債需給の緩みが意識されたことなどから、10年国債利回りは上昇しました。

（海外債券市況）

海外債券市場では、米国、ドイツ、英国など各国の10年国債利回りは、期間の初めと比べて総じて上昇しました。

期間の初めから2023年12月下旬にかけては、F R B議長が利下げを巡る議論を始めたことと明言したことを受けて、F R Bが2024年に複数回にわたり利下げを行なうとの観測が強まったことや、原油など資源価格の下落を受けてインフレ懸念が後退したことなどを背景に、各国の10年国債利回りは概して低下しました。2024年1月上旬から5月下旬にかけては、E C Bが今後の物価見通しを下方修正したことや、スウェーデンなど先進国の一部の中央銀行が政策金利を引き下げたこと、中東情勢の緊迫化を受けて世界的なリスク回避ムードが強まったことなどが利回りの低下要因となったものの、F R B議長がF O M C後の記者会見で金融緩和に慎重な考えを示したことを受けてF R Bによる政策金利の早期利下げ観測が後退したことや、米国の雇用統計の内容が堅調だったこと、米国の景況感に関する経済指標が市場予想を上回り米国の景気減速への懸念が後退したことを受けて、各国の10年国債利回りは総じて上昇しました。6月上旬から期間末にかけては、E C Bやカナダの中央銀行が利下げを決定したことや、市場予想を下回る米国のインフレ指標などを受けてF R Bによる利下げへの期待が高まり、各国の10年国債利回りは総じて低下しました。

（国内株式市況）

国内株式市場では、東証株価指数（T O P I X）は、期間の初めと比べて上昇しました。

中東情勢の緊迫化で投資家のリスク回避姿勢が強まったことや、国内の長期金利が上昇したことを受けて株式の相対的な割高感が意識されたことなどが株価の重しとなったものの、企業の好調な業績を受けて海外の投資家が日本株式への関心を高めていることや、日銀による金融緩和の長期化観測を背景に円安／アメリカドル高が進み輸出企業の好調な業績が期待されたこと、日銀が金融政策決定会合においてマイナス金利政策の解除や上場投資信託（E T F）の買い入れ終了などを決定した一方で日銀総裁の記者会見での発言などから緩和的な金融環境が当面続くとの見方が広がったこと、米国の大手半導体企業の好決算などを背景に半導体関連の銘柄を中心にハイテク株が堅調だったことなどが支援材料となり、T O P I Xは上昇しました。

（海外株式市況）

海外株式市場では、欧米諸国などの株価は、期間の初めと比べて総じて上昇しました。

欧米の早期利下げ観測の後退などから欧米の長期金利が上昇したことや、中東情勢が緊迫化したことなどが株価の重しとなったものの、F O M CにおいてF R Bが2024年に利下げに転じるとの見方を示したことや、生成A Iの活用の広がりからA I関連の大手ハイテク企業などへの業績期待が高まったこと、E C B総裁がE C B理事会後の記者会見で利下げを示唆したこと、米国の労働市場における需給の逼迫が薄れたこと、米国のC P Iが市場予想を下回ったことなどが支援材料となり、欧米諸国などの株価は総じて上昇しました。

（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。

**当ファンドのポートフォリオ**

(2023年12月16日～2024年6月17日)

（当ファンド）

主として、国内外の不動産、債券、株式に実質的に投資を行ない、安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないました。国内外の各資産を投資対象とする6つのマザーファンドへ投資を行ないました。各マザーファンドの組入比率は、それぞれ、純資産総額の1/6を目途としました。

（投資先の各マザーファンド）

各マザーファンドの運用においては、各マザーファンドがそれぞれに定めるベンチマークへの連動をめざして運用を行ないました。各マザーファンドは、ベンチマーク採用銘柄の入れ替えなどに対応するため、随時ポートフォリオの見直しを行ないました。各マザーファンドが定めるベンチマークは以下の通りです。

マザーファンド	ベンチマーク
日本リートインデックスJ-REITマザーファンド	東証REIT指数（配当込み）
海外リートインデックス（ヘッジなし）マザーファンド	S&P先進国REIT指数（除く日本、税引後配当込み、ヘッジなし・円ベース）
日本債券インデックスマザーファンド	NOMURA-BPI総合
海外債券インデックス（ヘッジなし）マザーファンド	FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）
日本株式インデックスTOPIXマザーファンド	TOPIX（東証株価指数）配当込み
海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI（ヘッジなし）マザーファンド	MSCI-KOKUSAIインデックス（税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース）

当ファンドのベンチマークとの差異

(2023年12月16日～2024年6月17日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

(2023年12月16日～2024年6月17日)

分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第220期	第221期	第222期	第223期	第224期	第225期
	2023年12月16日～ 2024年1月15日	2024年1月16日～ 2024年2月15日	2024年2月16日～ 2024年3月15日	2024年3月16日～ 2024年4月15日	2024年4月16日～ 2024年5月15日	2024年5月16日～ 2024年6月17日
当期分配金 (対基準価額比率)	10 0.089%	10 0.088%	10 0.087%	10 0.086%	10 0.084%	10 0.084%
当期の収益	10	10	10	10	10	10
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	3,114	3,159	3,259	3,454	3,702	3,703

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針**(当ファンド)**

引き続き、主として、国内外の不動産、債券、株式に実質的に投資を行ない、安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。国内外の各資産を投資対象とする6つのマザーファンドへ投資を行ないます。各マザーファンドの組入比率は、それぞれ、純資産総額の1/6を目途とします。

(投資先の各マザーファンド)

当ファンドの投資先である各マザーファンドの運用においては、引き続き、各マザーファンドがそれぞれに定めるベンチマークへの連動をめざして運用を行なう方針です。各マザーファンドは、ベンチマーク採用銘柄の入れ替えなどに対応するため、随時ポートフォリオの見直しを行なう方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

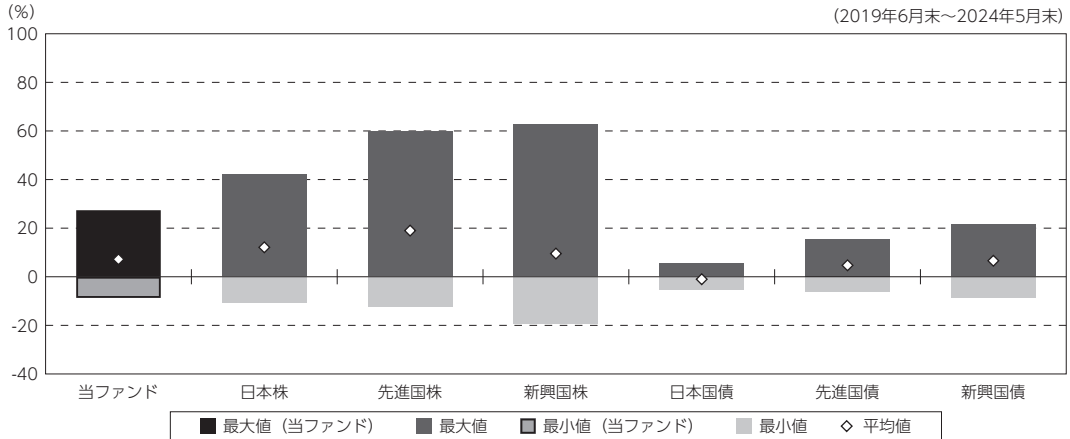
2023年12月16日から2024年6月17日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2005年9月29日から原則無期限です。	
運用方針	主として投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）に投資を行ない、安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	世界の財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	投資信託証券を主要投資対象とします。
	日本リートインデックスJ-REITマザーファンド	わが国の金融商品取引所に上場されている不動産投資信託を主要投資対象とします。
	海外リートインデックス（ヘッジなし）マザーファンド	日本を除く世界各国の金融商品取引所に上場されている不動産投資信託を主要投資対象とします。
	日本債券インデックスマザーファンド	わが国の公社債を主要投資対象とします。
	海外債券インデックス（ヘッジなし）マザーファンド	内外の公社債を主要投資対象とします。
	日本株式インデックスTOPIXマザーファンド	わが国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
	海外株式インデックスMSCI-KOKUSA I（ヘッジなし）マザーファンド	日本を除く世界各国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンドは、主として、国内外の不動産、債券、株式に実質的に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざします。投資信託証券（マザーファンド）への投資を通じて、原則として国内外の各3資産へそれぞれ純資産総額の6分の1を基本に国際分散投資を行ないます。	
分配方針	第1計算期から第3計算期までは収益分配を行ないません。第4計算期以降、毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	27.4	42.1	59.8	62.7	5.4	15.3	21.5
最小値	△ 8.7	△ 10.8	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	7.2	12.1	19.0	9.5	△ 1.0	4.7	6.6

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2019年6月から2024年5月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX、配当込）

先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド（円ヘッジなし、円ベース）

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●東証株価指数（TOPIX、配当込）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社に帰属します。

●MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

●MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

●FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド（円ヘッジなし、円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2024年6月17日現在)

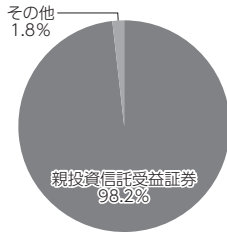
○組入上位ファンド

銘柄名	第225期末
	%
海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI(ヘッジなし)マザーファンド	17.3
海外リートインデックス(ヘッジなし)マザーファンド	16.9
海外債券インデックス(ヘッジなし)マザーファンド	16.8
日本株式インデックスTOPIXマザーファンド	16.3
日本債券インデックスマザーファンド	15.6
日本リートインデックスJ-REITマザーファンド	15.4
組入銘柄数	6銘柄

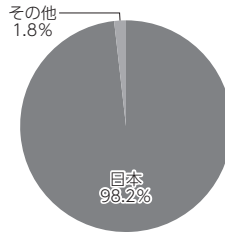
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

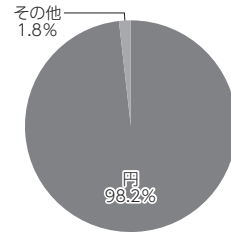
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

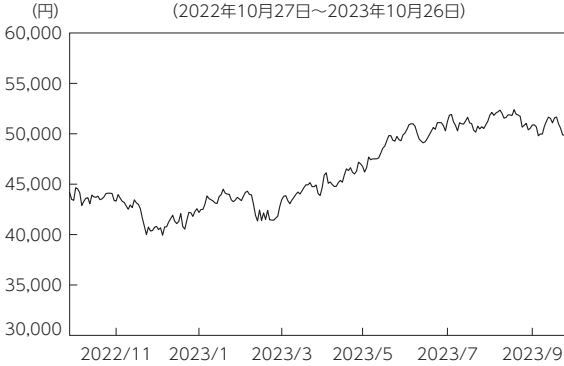
項目	第220期末	第221期末	第222期末	第223期末	第224期末	第225期末
	2024年1月15日	2024年2月15日	2024年3月15日	2024年4月15日	2024年5月15日	2024年6月17日
純資産総額	39,343,909,348円	38,877,225,951円	38,771,729,034円	39,153,537,023円	39,673,857,503円	39,212,816,087円
受益権総口数	34,885,091,925口	34,332,377,464口	33,939,265,869口	33,698,280,672口	33,433,505,099口	33,134,354,286口
1万口当たり基準価額	11,278円	11,324円	11,424円	11,619円	11,866円	11,834円

(注) 当作成期間(第220期～第225期)中における追加設定元本額は403,069,289円、同解約元本額は2,740,137,738円です。

組入上位ファンドの概要

海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI（ヘッジなし）マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年10月27日～2023年10月26日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式 式) (投 資 信 託 証 券) (先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	1 (1) (0) (0)	0.003 (0.002) (0.000) (0.001)
(b) 有価証券取引税 (株 式 式) (投 資 信 託 証 券)	2 (2) (0)	0.004 (0.004) (0.000)
(c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	9 (9) (0)	0.020 (0.020) (0.000)
合 計	12	0.027

期中の平均基準価額は、46,175円です。

- (注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

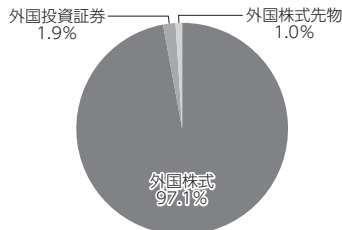
【組入上位10銘柄】

(2023年10月26日現在)

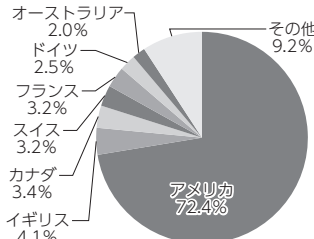
順位	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	APPLE INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	アメリカドル	アメリカ	5.4%
2	MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	アメリカ	4.8%
3	AMAZON.COM INC	一般消費財・サービス流通・小売	アメリカドル	アメリカ	2.2%
4	NVIDIA CORP	半導体・半導体製造装置	アメリカドル	アメリカ	2.1%
5	ALPHABET INC-CL A	メディア・娯楽	アメリカドル	アメリカ	1.5%
6	ALPHABET INC-CL C	メディア・娯楽	アメリカドル	アメリカ	1.3%
7	META PLATFORMS INC-CLASS A	メディア・娯楽	アメリカドル	アメリカ	1.3%
8	TESLA INC	自動車・自動車部品	アメリカドル	アメリカ	1.2%
9	UNITEDHEALTH GROUP INC	ヘルスケア機器・サービス	アメリカドル	アメリカ	1.0%
10	ELI LILLY & CO	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカドル	アメリカ	0.9%
組入銘柄数			1,273銘柄		

- (注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
- (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
- (注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

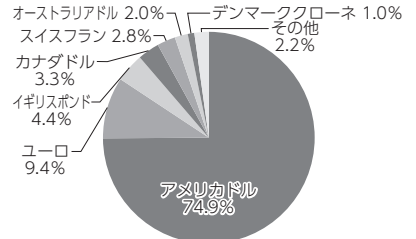
【資産別配分】



【国別配分】



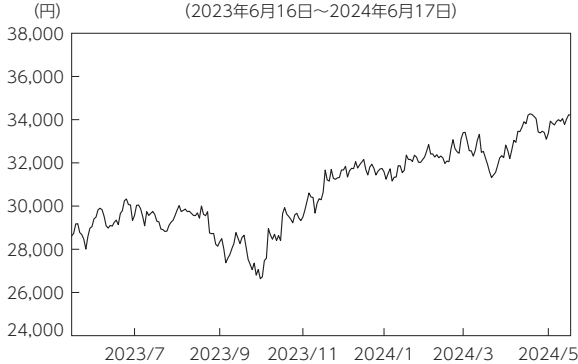
【通貨別配分】



- (注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 - (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
- ※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

海外リートインデックス（ヘッジなし）マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2023年6月16日～2024年6月17日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券)	4 (4)	0.013 (0.013)
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	2 (2)	0.006 (0.006)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	18 (15) (3)	0.059 (0.049) (0.010)
合計	24	0.078

期中の平均基準価額は、30,726円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

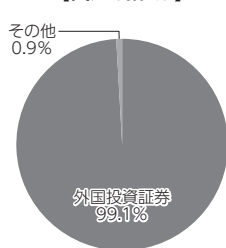
【組入上位10銘柄】

(2024年6月17日現在)

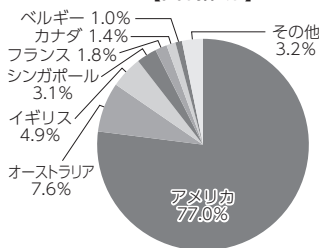
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 PROLOGIS INC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	7.7%
2 EQUINIX INC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	5.3%
3 WELLTOWER INC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	4.3%
4 SIMON PROPERTY GROUP INC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	3.6%
5 DIGITAL REALTY TRUST INC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	3.6%
6 PUBLIC STORAGE	投資証券	アメリカドル	アメリカ	3.3%
7 REALTY INCOME CORP	投資証券	アメリカドル	アメリカ	3.3%
8 GOODMAN GROUP	投資証券	オーストラリアドル	オーストラリア	3.0%
9 EXTRA SPACE STORAGE INC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	2.5%
10 VICI PROPERTIES INC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	2.2%
組入銘柄数	298銘柄			

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
 (注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

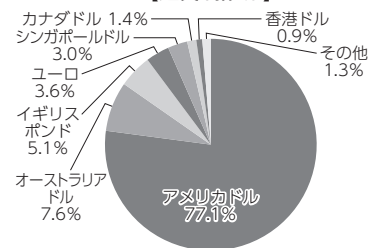
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

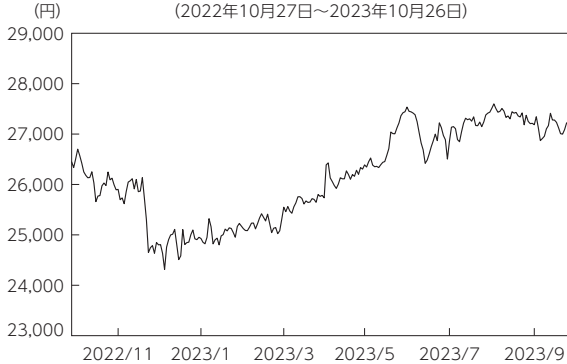


(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

海外債券インデックス（ヘッジなし）マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年10月27日～2023年10月26日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) そ の 他 費 用	5	0.018
（ 保 管 費 用 ）	(5)	(0.018)
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)
合 計	5	0.018

期中の平均基準価額は、26,179円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

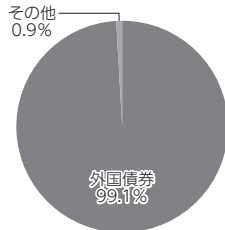
【組入上位10銘柄】

(2023年10月26日現在)

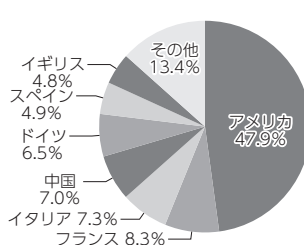
銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比 率
				%
1 US TREASURY N/B 3.625% 2026/5/15	国債証券	アメリカドル	アメリカ	0.6
2 US TREASURY N/B 1.75% 2029/11/15	国債証券	アメリカドル	アメリカ	0.6
3 US TREASURY N/B 0.375% 2027/7/31	国債証券	アメリカドル	アメリカ	0.6
4 US TREASURY N/B 4.125% 2028/7/31	国債証券	アメリカドル	アメリカ	0.6
5 US TREASURY N/B 4.125% 2032/11/15	国債証券	アメリカドル	アメリカ	0.6
6 US TREASURY N/B 1.625% 2031/5/15	国債証券	アメリカドル	アメリカ	0.5
7 US TREASURY N/B 1.25% 2031/8/15	国債証券	アメリカドル	アメリカ	0.5
8 US TREASURY N/B 1.125% 2025/2/28	国債証券	アメリカドル	アメリカ	0.5
9 US TREASURY N/B 1.375% 2031/11/15	国債証券	アメリカドル	アメリカ	0.5
10 US TREASURY N/B 2.25% 2024/10/31	国債証券	アメリカドル	アメリカ	0.5
組入銘柄数		864銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
 (注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

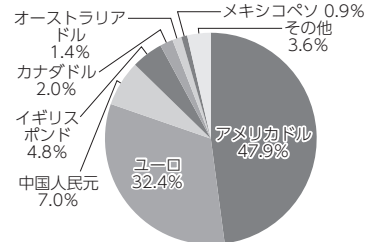
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
 ※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。